【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公表番号】特表2008-501728(P2008-501728A)
【公表日】平成20年1月24日(2008.1.24)
【年通号数】公開・登録公報2008-003
【出願番号】特願2007-526137(P2007-526137)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　39/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/09　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/085　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　39/02
Ａ６１Ｋ　39/09
Ａ６１Ｋ　39/085
Ａ６１Ｐ　35/00

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月21日(2008.5.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
患者の特定の器官、組織又は細胞において病原性である１種又は複数の病原細菌種の抗原を有効量含む、患者の特定の器官、組織又は細胞の癌の治療用組成物。
【請求項２】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、肺癌であり、病原細菌種が、ストレプトコッカス・ニューモニエ、モラクセラ・カタラーリス、マイコプラズマ・ニューモニエ、クレブシエラ・ニューモニエ、ヘモフィルス・インフルエンゼ、スタヒロコッカス・アウレウス、クラミジア・ニューモニエ又はレジオネラ・ニューモフィラである、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
病原細菌種が、ストレプトコッカス・ニューモニエ、モラクセラ・カタラーリス又はマイコプラズマ・ニューモニエである、請求項２に記載の組成物。
【請求項４】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、大腸癌であり、病原細菌種が、大腸菌、バクテロイデス・フラギリス、バクテロイデス・ブルガタス、バクテロイデス・シータイオタオミクロン、クロストリジウム・パーフリンジェンス、クロストリジウム・ディフィシレ、サルモネラ・エンテリティディス、エルシニア・エンテロコリチカ又はシゲラ・フレクスネリである、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、腎臓癌であり、病原細菌種が、大腸菌、プロテウス・ミラビリス、プロテウス・ブルガタス、プロビデンチア種、モルガネラ種又はエンテロコッカス・フェカーリスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項６】

特定の器官、組織又は細胞の癌が、前立腺癌であり、病原細菌種が、大腸菌、コリネバクテリウム種、エンテロコッカス・フェカーリス又はナイセリア・ゴノロエエである、請求項１に記載の組成物。
【請求項７】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、皮膚癌であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウス、ストレプトコッカス・ピオゲネス、コリネバクテリウム・ジフセリエ、コリネバクテリウム・ウルセラン又はシュードモナス・アエルギノーザである、請求項１に記載の組成物。
【請求項８】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、骨癌であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項９】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、口腔癌であり、病原細菌種が、プレボテラ・メラニノゲニク、嫌気性連鎖球菌、ビリダンス連鎖球菌又はアクチノミセス種である、請求項１に記載の組成物。
【請求項１０】
ビリダンス連鎖球菌が、ストレプトコッカス・サリバリウス、ストレプトコッカス・サングイス又はストレプトコッカス・ミュータンスである、請求項９に記載の組成物。
【請求項１１】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、精巣癌であり、病原細菌種が、大腸菌、サルモネラ・エンテリティディス又はスタヒロコッカス・アウレウスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１２】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、子宮癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラギリス、大腸菌、ナイセリア・ゴノロエエ又はクラミジア・トラコマチスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１３】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、卵巣癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラジリス、大腸菌、ナイセリア・ゴノロエエ又はクラミジア・トラコマチスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１４】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、膣癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラジリス又は大腸菌である、請求項１に記載の組成物。
【請求項１５】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、乳癌であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウス又はストレプトコッカス・ピオゲネスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１６】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、胆嚢癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラギリス、バクテロイデス・ブルガタス、バクテロイデス・シータイオタオミクロン、クロストリジウム・パーフリンジェンス、クロストリジウム・ディフィシレ、大腸菌、サルモネラ・エンテリティディス、エルシニア・エンテロコリチカ又はシゲラ・フレクスネリである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１７】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、膀胱癌であり、病原細菌種が、大腸菌である、請求項１に記載の組成物。
【請求項１８】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、頭及び首のリンパ腫であり、病原細菌種が、ストレプトコッカス・ピオゲネス、コリネバクテリウム・ジフセリエ、コリネバクテリウム・ウルセラン、アルカノバクテリウム・ヘモリチクム、スタヒロコッカス・アウレウス、シュードモナス・アエルギノーザ、プレボテラ・メラニノゲニク、嫌気性連鎖球菌、ビリダン

ス連鎖球菌又はアクチノミセス種である、請求項１に記載の組成物。
【請求項１９】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、胸部のリンパ腫癌であり、病原細菌種は、ストレプトコッカス・ニューモニエ、モラクセラ・カタラーリス、マイコプラズマ・ニューモニエ、クレブシエラ・ニューモニエ、ヘモフィルス・インフルエンゼ、スタヒロコッカス・アウレウス、クラミジア・ニューモニエ又はレジオネラ・ニューモフィラである、請求項１に記載の組成物。
【請求項２０】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、腹腔のリンパ腫であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラギリス、バクテロイデス・ブルガタス、バクテロイデス・シータイオタオミクロン、クロストリジウム・パーフリンジェンス、クロストリジウム・ディフィシレ、大腸菌、サルモネラ・エンテリティディス、エルシニア・エンテロコリチカ、シゲラ・フレクスネリ、プロテウス・ミラビリス、プロテウス・ブルガタス、プロビデンチア種、モルガネラ種又はエンテロコッカス・フェカーリスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項２１】
特定の器官、組織又は細胞の癌が、腋窩及び鼠径部領域のリンパ腫であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウス、ストレプトコッカス・ピオゲネス、コリネバクテリウム・ジフセリエ、コリネバクテリウム・ウルセラン又はシュードモナス・アエルギノーザである、請求項１に記載の組成物。
【請求項２２】
病原細菌種が、健康な被験者の特定の器官、組織又は細胞に存在するときに感染をもたらしうる、請求項１から２１のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項２３】
病原細菌種が、健康な被験者の特定の器官、組織又は細胞に感染をもたらしている、請求項１から２２のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項２４】
抗原を、細菌種全体を投与することにより投与する、請求項１から２２のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項２５】
少なくとも２種以上の細菌種を含む、請求項１から２４のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項２６】
少なくとも３種以上の細菌種を含む、請求項１から２５のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項２７】
サプリメントをさらに含む、請求項１から２６のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項２８】
アジュバントをさらに含む、請求項１から２７のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項２９】
投与が被験者における免疫応答を誘発する、請求項１から２８のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項３０】
患者の肺癌の治療用組成物であって、１種又は複数の病原細菌種の抗原を有効量含み、前記病原細菌種が、ストレプトコッカス・ニューモニエ、モラクセラ・カタラーリス、クレブシエラ・ニューモニエ、ヘモフィルス・インフルエンゼ又はスタヒロコッカス・アウレウスである組成物。